

新武蔵野クリーンセンター（仮称）施設・周辺整備協議会（第4回）
議事要録

日時 平成22年7月29日（木）午後7時～午後9時05分
場所 クリーンセンター3F 見学者ホール
出席 小澤紀美子委員（会長）、水谷俊博委員（副会長）、村井寿夫委員、藻谷征子委員、
塩澤誠一郎委員、木村文委員、石黒愛子委員、千綿澄子委員、島森和子委員、
高橋豊委員、高石優委員、山崎君枝委員、平田昭虎委員、渡部敏夫委員、
事務局（木村浩クリーンセンター所長、和地稔課長補佐他）
コンサルタント（株式会社日建設計 高津敬俊主管他）
欠席 岡田敬一委員、飯村雅洋委員
傍聴 2名
配布資料
【資料1 - 1】施設整備の検討イメージ、【資料1 - 2】リサイクルセンターの事例
【資料2】エリア整備の検討イメージ、
【資料3 - 1】周辺整備の検討イメージ、【資料3 - 2】都市マスタープランの改定案
【資料4】委員会及び協議会のスケジュールについて、
【資料5】体育施設附属駐車場 利用者数集計表
【欠席委員よりの意見書】周辺整備について・合同勉強会実施について
【委員提出資料】豊田市環境学習施設 eco-T（エコット）の概要とパンフレット

1. 施設・周辺整備事項の整理（施設整備）

事務局より施設整備の検討イメージ、リサイクル工房の事例について説明

- ・ **会長** モノクロ印刷の資料は、私が見学に行った豊田市のクリーンセンター内の学習施設である。トヨタの関係があるのか、少し豪華な感じもするが、多くのNPOが運営に参画し、市民が環境整備に係っているという点分かる。住民参加型であり、また、温暖化防止もテーマに加えられている。こういった施設、運営のイメージを少しずつ膨らませていくことが重要である。
- ・ **委員** 資料の施設整備の検討イメージの中央にある「付帯施設」とは何か。
- ・ **事務局** 詳細には決まっていないが、洗車場や計量棟などが該当すると考えている。
- ・ **委員** ストックヤードも含まれるのか。
- ・ **事務局** ストックヤードについても今後議論を行わなくてはならないが、そもそもストックヤードをどのようなものにするかが決まっていない。もう少し詰めた段階で、提示したい。
- ・ **会長** 収集車についてもその場で計量できるようなごみ収集車も出てきている。その場で重量を提示した方が、市民には実感が湧き、市民の交流の場になるとも考える。また、

資料の丸や楕円が施設の規模を表しているわけではないことに十分注意いただきたい。

- ・ **委員** 様々な施設を建設した結果、あまり利用されずに空き地になってしまった例がよく見られる。単純に市民の要望に応える施設ではなく、人が集まらなくてはならない施設を建設することが重要である。人がものを捨てるからごみとなるのであり、人が不要になったものを預かり、再利用する・レンタルするシステムが構築されれば、人が集まる施設になるのではないか。
- ・ **会長** 機能や動線は今後専門家を交えて検討しなくてはならないが、レンタルというのは一つのアイデアである。

2. 施設・周辺整備事項の整理（エリア整備）

事務局よりエリア整備について説明

- ・ **委員** 資料中に「コミセンの駐車場はいつもいっぱい」と記載されているが、どこのコミュニティセンターを表しているのか。緑町には、駐輪場しかない。
- ・ **事務局** 駐輪場の間違いである。
- ・ **委員** コミュニティセンターに駐車場は必要である。
- ・ **委員** 駐車場が欲しいと思っているが、現状はない。
- ・ **委員** エコフェスタにおいて出された意見であり、駐輪場への意見であった。
- ・ **委員** 緑町コミュニティセンターについては、エレベーターがないこと、耐震性、会議室の不足など現実的な課題が挙げられている。これらは住民の素直な感情であり、今回のクリーンセンターの建て替えにおいても十分に検討する必要があると考える。また、コミュニティセンターの場所を動かしたいという意見やそのままよいという意見があることも理解している。パブリックコメントにおいては、緑町コミュニティセンターは改修と記載したが、エリア全体を考えたらうで、検討する必要がある。
- ・ **委員** 緑町コミュニティセンターは、地元への還元施設として現在の場所に建設された経緯がある。当時は、現在の高齢者総合センターの場所に建設するという検討もされていた。クリーンセンターと道路の整備、余熱利用などの付加価値が付くのであれば、現在のコミュニティセンターと高齢者総合センターを交換するという考え方もあるのではないか。高齢者総合センターには入浴施設があり、余熱を利用するには都合がよい。また、緑町のコミュニティセンターとしては、街の中心に配置することもできる。
- ・ **委員** このエリアにおいて、地域集会機能が不足しているのは明らかである。高齢者総合センター、URの集会場などを連携して利用できる仕組み作りが重要である。その意味では、クリーンセンターの施設整備において、集会施設を含めてもよいと考える。啓発施設、学習施設といった形で最初から施設の性格を決めつけないスペースがあり、縦割りでなく利用できるような施設になればと考えている。
- ・ **会長** 集会スペースがどれだけ、どの位置にあるかを地図上にプロットし、明確にしたい。新たに建設するにしてもそういった整理なくしては議論ができない。
- ・ **事務局** クリーンセンター周辺の集会場の規模、場所については整理して次回に提示す

る。緑町コミュニティセンターについては、昭和 60 年くらいに建設され、まだ 20 年程度しか経っておらず、改築はもったいないと考えている。実体的に会議室等足りない機能については、今後ヒアリング等をできればと考えている。会議室を活用するという点では、クリーンセンターでも活用できる仕組みが必要であると考えている。啓発施設として銘打って、利用されていない施設が多くあるのも事実であり、NPO や地元で運営するような仕組みが重要であると認識している。リサイクル施設を検討する中で、地域の交流の場という要素も含めて議論頂ければと考えている。また、武蔵野市のコミュニティ構想において、コミュニティセンターを増やすという考えはないが、集会施設の連携という点では十分に可能性があると考えている。

- **委員** 現在のコミュニティセンターと高齢者総合センターの交換という話は、緑町三丁目から反対されることは明らかである。コミュニティセンターは、クリーンセンター建設時の還元施設の意味合いがあったと聞いている。また、実際に会議室は不足しており、また多くが和室であったり、使い勝手の点でもよくない。建て替え、改修を含めて検討いただきたい。町会などの垣根を越えて利用できる会議室をぜひクリーンセンター内に設けて欲しい。
- **委員** 緑町コミュニティセンターには、会議室は 1 つしかないため、少ないとの意見が出るのは当然である。調理室で調理を行っても食事をする場所が無く、2 階のホールで食事を行うなど利用者も不便を感じている。
- **委員** 集会機能は高齢者総合センターも持っており、夜間は地域への開放も行っている。たとえ高齢者総合センターとの交換を行ったとしても運用で三丁目専用で使用できるスペースを設けておくなどすれば、利用者に不便は生じないのではないかと。そういった柔軟な考え方が必要である。UR や都営住宅の集会施設などは、住民のために設けられているため、一般の利用は難しいと思われるが、不可能でない場所が多くあると考えている。
- **会長** 施設・周辺整備協議会として、そういったソフトの部分での連携などを提案していくことも重要である。建設するだけでなく、地域の方々の連携など多角的な考えを持って進めていく必要がある。
- **委員** 集会施設は各所にあるが、いずれも狭いなど中途半端な施設が多い。大勢の人が集まる大ホールのような施設はなく、そういった施設をクリーンセンター内に設けることで、そこを中心としたコミュニティが構築されてくるのではないかと。中央公園近隣の都営の空き地を有効利用するなど考慮していただきたい。コミュニティセンター「分館」として運営することで、運営費も抑えていくことができると考えている。中島飛行機の記念変電室跡などにも集会施設などを設けるという考え方もできる。
- **委員** コミュニティセンターが作られた 30 年前と現在では、利用法が大きく変化している。各所に有料のスペースが多く作られているが、いずれも利用しづらい。大きなスペースを壁で仕切っても使えるといった空間、仕組みが必要であるとする。運営につ

いてもコミュニティ協議会が行うなどすればよい。会議室が点在しているということであるが、どこにどのような施設があって、いつが空いているのかなど不明点が多い。

- ・ **会長** ソフト面については、今後最終的な提案において盛り込むことが重要である。一方で、集会室の場所、規模など客観的事実はきちんと整理する必要がある。

3. 施設・周辺整備事項の整理（周辺整備）

事務局より周辺整備、都市マスタープランの改定案について説明

- ・ **委員** 資料記載のテニスコートの形が気になる。武蔵野市唯一のテニスコートであり、コミュニティセンターや広場との関係で面積を減らすとなると反対があると思われる。形を変更できる可能性はないのか。
- ・ **事務局** 現状7面ありそれをそのまま確保できれば移動可能であると考えている。あくまでも現配置における課題を整理したものであり、皆さまからの意見を集約したうえで配置計画は検討したい。市として対応できない内容もあると思うが、できる限り皆さんと接点を持って進めていきたい。現状 NTT 側には歩道がないが、ここに歩道を設置したいという意見と、コミュニティセンターが狭いという意見から、テニスコートが邪魔でないかという話になったと認識している。この西側部分については、具体化していく中で配置計画を検討したいと考えている。
- ・ **委員** 公園内に施設を作るということには制約がある。緑町コミュニティセンターについてもオープンスペースが重要であり、クリーンセンター周辺と連携して使用したいが、拡張するということが可能であるのか。また、市役所南側の芝生広場、北側のバスターミナル、クリーンセンターが連携した使い方を検討し、こういったオープンスペースにするかを考えていく必要がある。
- ・ **会長** 武蔵野市は先進的であるが、行政の縦割りの強さを感じる。整備した後もきちんと利用できるソフトの仕組みを作っていかななくてはならない。また、緑町コミュニティセンターについての議論があったが、この会議はクリーンセンターを整備する会議であり、これ以上廃棄物を出す方向に議論を進めるのはいかがかと考える。将来的には、改修等を議論する委員会を立ち上げてよいのではないかと。傍聴者からの意見に、武蔵野市への誇りが感じられ、感心した。
- ・ **委員** コミュニティセンターのホールの窓を開けたときに、テニスコートのメッシュが目前面にある。防災時に逃げるのが困難であるため、危険と感じている。その点においてもテニスコートの場所については十分検討した方がよいと考えている。また、村井委員の言うように周辺との関連性が非常に重要になってくる。市役所や NTT などとの空間をより豊かにすることが重要である。そのつながりで電線の地中化を要望している。市内で部分的に実施されているエリアもあるため、どこが実施されていてどこが未実施か整理した資料を提示いただきたい。また、ごみを減量することによりどの程度の雇用が削減されてしまうのか簡単で構わないので推計いただきたい。必要な機能を考える参

考としたい。

- **事務局** 問題ない。
- **委員** NTT については株式会社化したということもあり、社会貢献をさらに行って欲しい。以前は刑務所のような塀であった部分が緑の塀になったように、地域への還元を粘り強くお願いしていただきたい。中央公園は、近隣自治体からも広域避難所として設定されており、南北につなぐ道路は防災上も地域にとっても必要である。行政からも働きかけて欲しい。UR 内は地中化を行い、電信柱は無くなっている。日本独特のものであるが、無いとすっきりするため、まちづくりにおいては非常に重要であると感じる。バスルートについては、関東バスのほうから武蔵野市道路課に話が行っていると聞いている。今後、どのように路線を回すか、バス停などについて議論をすることになると考えている。様々な機能を設けるのもよいが、近隣に住宅地があることを十分考慮しなくてはならない。千川小学校プール跡地や、武蔵野旧図書館跡地など分散化することでより周辺住民にとっては利便性が高くなるという考え方をきちんと持つことも重要である。
- **会長** 全てを盛り込めないかも知れないが、皆さんの思いは理解した。できる限り提示していきたいが、まだまだ抽象的な意見となっている。
- **副会長** エリア整備、周辺整備は実はかなり限られた範囲の話であると感じている。機能を余り縛らずに共用できるものは相互利用していく仕組みができれば、柔軟性のある展開ができると考えている。前回に機能がなくとも一定の大きさのスペースがあればという話をさせていただいたが、そういったスペースを市民参加や市民協働の拠点となるような場所にできればと考えている。スーパーハイブリッドコラボレーションルームなど名前を付けて目的意識を高めるということも重要である。また、開かれたという意味では、見学ルートが非常に重要である。公園から簡単に見学ルートに入れてまた公園に出て行くような流れを作ることでごみに関心を持ってもらい、また先ほどのコラボレーションルームを利用してもらおうといった循環ができるのではないかと考えている。
- **市委員** 武蔵野市のコミュニティ構想によると、建物については充足している段階にある。しかし、作ってから 35 年を経て当時と利用形態が異なることは行政も十分承知している。今年度 5 期の長期計画を作る段階で、コミュニティ構想をどのようにするかは議題となり、長期計画に盛り込まれていくであろうと考えている。一方で、緑町コミュニティセンターの話は、周辺コミュニティの話であり、要望についてはしっかりと出していただきたい。また、中央公園の 1 万平米の土地については、行政としても公園などで整備できるよう努力していききたい。縦割りというご指摘については、今回のクリーンセンター建て替えについても様々な組織が関連し、関係する部長で本部会議を開催している。41 号の歩道整備の要望についても本部会議に諮り、回答するという形を取っている。縦割りということを憂慮する必要はない。会議室が足りないということについて、市役所西棟の会議室は関係ある課を通してもらえば利用できるよう開放している。

クリーンセンターに言っていただければ、利用できる。

- **会長** 施設が開放される方向にあり、心強いメッセージをいただいた。

4. 白煙排出実験に伴うスケジュールの修正、合同勉強会の実施について

事務局より白煙排出実験に伴うスケジュールの修正、合同勉強会の実施についての説明を行った。

- **会長** 様々な問題があるが、やはり行政のみで全てを交渉するという事は難しい。住民たちの要望、熱意がないと伝わっていかない。武蔵野市さんは、今まで丁寧にそういったことに対応してきた実績があり、それを真摯に実践し、次世代に誇れるまちを残していくということをクリーンセンターをきっかけにできればと考えている。

閉会